

律法

シカゴ イリノイ州 アメリカ合衆国

1955年01月15日

1 ある集会に、小さな女の子が現れたんです。多くの方がその子を見たと思います。「We The People」という記事にも取り上げられたほどでした。盲目の小さな女の子でした。

彼女は私のところに来て、ぎゅっと私にしがみついて離れなかったんです。小さな子で、眼鏡をかけていました。目はほとんど見えない状態でした。かろうじて影が見える程度だったと思います。いや、失礼、それすら見えていなかったかもしれません。今は詳細ははっきり思い出せませんが。

その前の晩のことです。小さな赤ちゃんが、何年も装具をつけていたんです。足が内側に曲がっていました。でも聖霊が語られて、「何年そうだったのか——4年か5年ほど——そしてこれから何が起こるのか」までも示されたんです。

それで、お母さんがその赤ちゃんの装具を外して、歩かせてみたら、なんと、その子は普通にステージを歩いてきたんですよ。何の支えもなく、まるで何事もなかったかのように。

2 そこに、車椅子に乗った男性がいたんです……。モーガン夫人という方がいましてね、彼女はメイヨークリニックの看護師だったんですが、ガンで癒されたんです。実は、彼女は「死亡者リスト」に載っていて、もう8年も前に亡くなったと思われていたんですよ。でも今もなお、看護の仕事をしているんです。なぜなら、主イエスが彼女を癒してくださったからです。

その彼女が、その男性のことを気にかけていたんですね。

で、「お祈りカード」は渡すことができました。でもね、祈りの列にお呼びするかどうかは、私たちには決められないんです。それは、神の主権によってなされることだからです。私たちはただ、毎日新しくカードを配るだけです。そして、私の心に来るままに、何人かをお呼びするんです。それが神の御心だと感じたときに、です。どの方が呼ばれるかは、誰にも分からないようになっています。

カードを配る兄弟たち——ビリーやウッズ兄弟、あるいは他に手伝ってくれる人たちも——彼らも誰が呼ばれるかは知りませんし、私自身も知りません。ただ来て、そこから神が選ばれるんです。

そして毎晩、その男性は祈りの列に入れませんでした。その夜が、最後の集会だったんです。彼を連れてきて、寝かせていました。彼はもがいていて、仰向けの状態でした。

そのとき、私は幻を見たんです。主イエスが彼を癒しておられる幻でした。それで、幻の中で私は彼のところへ行って、触れるように示されたんです。

なぜそうしなければならなかったのか、自分でも分かりません。ただ、神がなさいと言われたことに従ったんです。それだけです。

3 それで私は、幻の通りにその男性に触れようと歩いて行く途中でした。すると、その近くに、関節炎で体がひどく曲がってしまっていた別の男性がいたんです。もう進行がかなり進んでいて、指や体のあちこちがこぶのように固まってしまっている状態でした。

その前を通り過ぎたときに、私がおの方に軽く触れたんですが、触れられたその瞬間、彼はパツと立ち上がって、車椅子から飛び出すようにして跳ね始めたんですよ。もう、ピョンピョン跳ね回って、喜びのあまり飛び跳ねていました。

そして、そのすぐそばにいたもう一人のお年寄りの男性も、私の服か何かにそっと触れたんです。もちろん、私のコートや服に何か特別な力があるわけじゃありません。私自身にも、癒す力なんてないんです。でも、彼にとっては、「信仰を置く場所」になったんですね。彼が信じていたものに、触れたかったんです。

そしてそれから1週間ほどして、その車椅子から癒された男性が、自分の車を運転して道を走っていたときのことで、ふと横を見ると、畑でトラクターを使って耕している男性が見えたんです。お互いすぐに気づいたんですね。畑にいた男性は、あのときストレッチャーに寝かされていた人でした。

二人はお互いのところに駆け寄って、抱き合って、飛び跳ねて、主を賛美していました。本当に喜びに満ちた再会でした。

そして、実はこの車椅子の男性の癒しを通して、私はイギリスのジョージ王のために祈るようにと呼ばれたんです。王様の秘書官が、この癒しの証を耳にして、祈ってほしいと私に連絡をくださったんです。

ジョージ王は、当時多発性硬化症を患っておられ、長い間立っていることもできないような状態だったと記憶しています(細かい部分は今手元に資料がないので正確ではないかもしれませんが、家には王の印章付きの記録が残っています)。

4 そして、その夜のことで。あの小さな盲目の女の子が——とうとう視力を取り戻したんです。

主イエス様がその子に視力をお与えになった、その方法はまさに奇跡としか言いようがありませんでした。見えなかったはずの目が、開かれたんです。その子はもう、喜びでいっぱい、笑顔がこぼれて止まりませんでした。

そしてこの出来事は、大きな反響を呼びました。あちこちで話題になり、「We The People」という雑誌が大きく取り上げてくれたんです。この雑誌は、科学や宗教など、あらゆる分野の記事が載っていて、多くの言語にも翻訳されている非常に影響力のある出版物です。

それから、神の教会連盟(Assemblies of God)の方々が発行している新聞にも掲載されましたし、いくつもの癒しに関する雑誌にも載せられました。

でもね、すべての誉れと栄光は、これをなしてくださった主イエス・キリストにこそ帰されるべきなんです。私たちの主が、栄光をお受けになるべきお方なのです。

5 さっき、ボーズ兄弟がこうおっしゃっていましたね——「遠くから人々が集まってきている」と。まさにその通りなんです。

私のところにも、ホテルやいろんな場所から手紙が届きます。「何百キロも運転してきました」「病気の子どもを連れて来ました」——そんなふうにかかれてあるんです。そして、次に続くのが、証しの言葉です。

翌日になると、また別の手紙が届くんです。「昨夜、帰る道中で主が癒してくださいました。今は喜びのうちに家に戻っています」と。

こうしたひとつひとつの出来事を通して、私たちは心から感謝しています。そして、すべての栄光は主に帰されるべきです。主の御名が誉れを受けられますように。

6 さて、今会場を見渡してみると、車椅子や寝台はもう一台しか残っていないようですね。他の方々は、もう癒されたようです。数日前にお聞きした女性のこともそうでした。あの方は、メイヨーブラザーズクリニックでも見放されていたのですが、幻の中に示されて、そして癒されたんです。

ここに、車椅子に座っている小さな女の子がいますね。——お嬢さん、願わくば、あと一時間もすれば、その車椅子に座っていなくて済むようになりますように。イエス・キリストがあなたを癒し、そこから立ち上がらせてくださいますように。

もし私に、あなたを癒す力があれば……直接降りて行って、あなたを立たせてあげたいくらいです。でも、私にはそれはできません。ただ、主が私に何をしてくださる時だけ、それを行うことができるのです。

お嬢さん、私にも小さな娘がいます。まだ8歳です。ですから、もしもその車椅子に座っているのが自分の娘だったらと思うと、胸が締めつけられます。主が彼女を癒してくださいるなら、どれほど嬉しいことか。だから、あなたが癒されるなら、それもまた私にとって大きな喜びです。

どうか祈ってください。私は信じています——主の御心は、あなたを癒すことだと。もしあなたの信仰が、ほんの少しでもその高さまで届くなら、もうそれで終わりなんです。

このことはね、私たちには最後まで分からないことの一つなんです。例えば、会場にいて見ていると、こちらに重い障害を持った方がいて、こちらにはそれほど悪くない方がいる。でも癒されるのは、必ずしも重い方とは限らない。時には、重い障害のある方がそのまま、比較的軽い症状の方が癒されたりするんです。

7 数夜前のことですが——もしかすると、今晚この会場にその方がいらっやっているかもしれません——この近くの大きな学校、大学の関係者の方からお便りをいただきました。

その手紙にはこう書かれていました。「ブラナム兄弟、私たちは国中あちこちであなたを探しました。というのも、ある女の子が家出をして、1年か2年、行方不明になってしまったのです」と。FBIも彼女のことをもう亡くなったものとして扱っていたようです。

その子は、どうやら麻薬の組織のようなものに関わってしまっていたらしくて——男たちとどこかへ行ってしまって、それきり誰も彼女を見ていなかったということでした。だから、「もしお祈りをしてくださいれば、主が幻を見せてくださって、何が起こったのかを教えてくださいませんか」と思って、私に手紙を書いてきたんです。

この会場にも、さまざまな場所から来られている方々がたくさんおられますね。どうぞ、自分自身のことを思い出してみてください。また、あなたがこれまでどこかで聞いたことのある話を思い出してみてください。主が「こうなる」とおっしゃったことが、どれもその通りに起こってきたのを。

一度たりとも外れたことはないのです。ですから、これは私——この兄弟である人間——の力ではないということがお分かりいただけると思います。私はただの人間です。ただ、主がなさることを、私はお伝えするだけなのです。

8 でもその日は、本当にたくさんの祈りの要請があつて——病気の子どもたちや、さまざまな苦しみの中にある方々——もう、心の中で「主よ、なんと大変なことか」と思ったんです。その夜、私は夜の11時ごろまで祈り続けました。それから部屋に戻って、床につきました。

すると、次の朝の3時半か4時頃に、ふと目が覚めたんです。「ああ、主よ、こんな時間に私を起こされたのは、何かあるのだろうか」と思いました。私は起きて、電気をつけて、聖書を一章読み、それからしばらく静かに待ちました。

しばらくして、もう一度横になろうかと思ひながら、ふと目を上げると……そこに若い女性が歩いてくるのが見えたんです。茶色のピロードのようなスーツ——上着とスカートが別になっているタイプ——を着ていました。髪は赤毛で、少し砂色がかかった深い赤。しっかりとした体つきで、魅力的な娘さんでした。彼女は微笑みながら、家に向かって歩いていたんです。

私はすぐに、「これは主が何かをお示しになっているのだ」と分かりました。夜が明けてすぐに、妻がその手紙を受け取った姉妹に電話をかけました。その手紙には、娘さんの外見について何も書かれていなかったのですが、妻が連絡を取ると——なんと、それがその娘さんだったんです。

赤みがかかった砂色の髪、まさに幻で見た通りの女性でした。そして彼女は、本当に家に向かって戻っていたのです。

ああ、なんと驚くべき、なんと素晴らしいお方でしょう、私たちの主は。

9 その朝のことです。私は、ずっと目の前に小さな赤ちゃんが見えて仕方ありませんでした。それで事務所に電話をして、まだ私のもとに届いていない祈りのリクエストのリストを、すべて読み上げてもらったんです。でも、どこにもその赤ちゃんのことは見当たりませんでした。

私は心の中で、「主よ、その赤ちゃんはどこにいるんでしょうか」と祈り続けました。自宅にあったリストにも目を通しましたが、やはりそれらしい子はいませんでした。ただ一件だけ、ケンタッキー州にいる五歳の子どもで、両目にガンがあるという祈りのリクエストがありました。でも、主が語られるのは——「乳児の赤ちゃんだ」と。

私は何度も考え込みました。幻は与えられていませんでしたが、はっきりとわかっていたのです。どこかに、乳児の赤ちゃんがいると。

そして、ふと思ひ出したんです。二週間ほど前、私のタバナクル(集会所)でのことでした。小さな女の子が、そつと私の耳元で「赤ちゃんの妹のために祈ってください」とささやいたのです。

ああ、あれは確か——バプテスト派の伝道者、レッドフォード牧師の娘さんだったはずです。主が思い起こさせてくださったのだと、私はすぐに感じました。

それで私は電話帳でレッドフォード牧師の名前を探し出して、すぐにお電話をしました。……けれど、そのとき牧師はご不在でした。

10 それで私は、再び自分の事務所に電話をかけました。すると秘書が、「ああ、あのレッドフォード牧師は、この町にいるトンプソンという名前——いえ、たしかジャクソン——そう、ジャクソンという方の娘さんと結婚されたんですよ」と教えてくれました。

それで、そのお嬢さんのお父さん——トーマス・ジャクソンさんという方の名前をもらって、私はすぐに電話をかけました。

電話に出た方にこう言いました。「私はブラナム兄弟と申します。どうか、私が精神的におかしくなったと思わないでくださいね……」

するとその女性が、「どうされたんですか、ブラナム兄弟?」と聞かれました。

私は答えました。「今朝、ここ二時間ほど、書斎から戻ってからずっと、目の前に乳児の赤ちゃんが現れて離れないんです」と。「そしてふと、あの小さな女の子が私の耳元でささやいたことを思い出したんです。『妹のために祈ってください』と。——あの、レッドフォード牧師のお嬢さんです。するとすぐに聖霊が、『それがその赤ちゃんだ』と私に教えてくださったんです」

すると彼女は泣き出しました。

「ブラナム兄弟……私、あなたのこと知っていますよ。あなたの教会にも行ったことがあります」と言いました。でも私は出張が多いので、どなたが来てくださっているかを常に覚えているわけではありません。「でも、分かります。主がなさったこと、なんて素晴らしいのでしょうか」と彼女は言いました。

「実はその赤ちゃん、もう10日ほどずっと意識がほとんどない状態なんです。何も手が打てなくて、医師たちももう望みがないと言っています。今朝も病院で輸血を受けているところで……両親が電話に出なかったのは、今まさにその子が息を引き取るかもしれないという状況の中にいるからなんです」

11 私は、赤ちゃんへの輸血がどのように行われるかを知っていました。頭のここ——この部分の静脈から針を刺すんです。見ていると本当に……あの小さな子にはとても痛々しく見えるんですが、そこが一番確実に血管を捉えられる場所なんですね。

それで私はこう言いました。「輸血が終わるまで、あと1時間ほど待ってから、病院に向かいます」と。

すると、電話口の彼女は泣き出しました。

「ブラナム兄弟、赤ちゃん……助かると思われますか?」と。

私ははっきりと言いました。「疑う余地はありません。赤ちゃんは助かります。私は、それを知っているんです」

彼女はすぐに答えました。「ああ、ブラナム兄弟……心から信じます。あなたがそうおっしゃるなら、私は全く疑いません」

私は言いました。「私が言ったから信じるのではなく、主がそうしてくださると信じてください。これは幻ではありません。でも、これは“啓示”です。私はその赤ちゃんのことをすっかり忘れていましたが、神様がもう一度思い起こさせてくださったんです」

それから私はこう伝えました。「今からその赤ちゃんのために祈ります。そして一時間祈ったあと、病院へ向かいます」と。

12 皆さん、これは私の作り話ではありません。病院が記録を出すこともできますし、ご両親が証人になってくださるでしょう。

私はそれからおよそ1時間後、いや、1時間半ほどしてから病院へ向かいました。

すると、病院の入口でお母さんが立って待っておられました。顔いっぱい、にっこりとした笑みを浮かべて。

私は声をかけました。「こんにちは。あなたはレッドフォード夫人——D.W.レッドフォード牧師の奥様でしょうか?」

彼女は「はい、そうです」と答え、それからこう言いました。「あなたはブラナム兄弟ですね。私のこと、覚えていませんか？」

私は、「たしかに、どこかでお会いしたような気がしますね」と言いました。

彼女は、「何度もあなたの教会に伺いましたよ」と言って、続けました。「でも、あなたがご不在のときが多かったですね。主人もあなたの教会で説教させていただいたことがあるんですよ」

私は、「それはありがたいことです」と応えました。

すると、彼女の頬にすーっと涙が流れ始めたのです。

私は心の中で、「ああ、何かが起こったに違いない」と思いました。

13 それで彼女はこう言いました。「ブラナム先生、1時間ほど前に、私の母が電話をくれました。そして、今朝あなたが見た幻と、そこで何が起こったのかを教えてくださいました」と。

「私は今ここで、この子と一緒にいます。医師たちは、もういつ息を引き取ってもおかしくないと覚悟していました。けれど、原因がはっきりしなかったんです。何がこの子を半意識状態にしていたのか、医者にも分からなかったんです。ただ一つ分かっていたのは——この子が“糖尿病”だったということです」

「たった5か月の赤ちゃんですよ。それで糖尿病だったんです」と彼女は言いました。ほかにもいくつか問題はあったのですが、何が命に関わる状態を引き起こしていたのか、はっきりした診断は出ていませんでした。

「でも母の話を聞いたとき、私の心の中に平安が来たんです」と彼女は続けました。「“この子は生きる”——そう信じるのができたんです。そして振り返ったら、この子が足をバタバタさせて、“あーあー”と声を出して笑っていたんです！」

「ほら、見てください。今お医者さんが来て、退院の許可を出してくれるのを待っているところなんです。ジェファーソンヴィルのロビー先生が診てくださってます」

私はその子の病室に入りました。小さな赤ちゃんは、哺乳瓶を両手で持って、夢中で飲んでいました。私の方をちらっと見て、歯のない小さな口でニッと笑って、それからまた哺乳瓶をくわえました。

お母さんがその哺乳瓶を引き離そうとしたけど——ああ、ダメです。またすぐにくわえ直していました。

そこにお医者さんが入ってきて診察し、「家に連れて帰ってあげなさい。もうどこにも問題はないですよ」と言ったんです。

——やっぱり、聖霊の導きに従うことが一番です。

もし私たちクリスチャンが、もっと心を静めて、慌てず、騒がずに、主の御声を待つことができたなら……主からのたった一つの呼びかけは、私たち自身の一万の努力にもまさる力があります。

心から主を信じましょう。主は、本当に優しいお方なのです。

14 さて、今夜は土曜日の夜です。明日の朝は、皆さん日曜学校へ行かれることでしょう。

[※ここでブラナム兄弟が言います:「音量をもう少し上げてもらえますか?後ろに座っている方々には、ちょっと聞き取りづらいかもかもしれませんので」]

音響のエンジニアの方、どうぞよろしくお願ひします。

さて今夜は、聖書の一箇所を開いて、皆さんと一緒に読んでいきたいと思ひます。

願わくば、主が御言葉のうちに私たちと共にいてくださいますように。皆さん、神が御言葉の中におられると信じておられますか?——そう、いつもです。

通常なら、明日の日曜夜がこの集会の最終日となるはずでした。いつも3~5日間の集会が基本ですからね。でも今回は、来週も続けさせていただく予定です——主の御心であれば。

ですから、すべてを今夜一度に詰め込んで話すようなことはしません。

御言葉について少し語ることで、私自身も心が落ち着くんです。

15 さて、それでは今から、ヘブル人への手紙 第10章を開いて、御言葉の一部をお読みしたいと思います。そして、願わくば主の御導きの中で、20分から30分ほど、この箇所について語らせていただければと思っています。これは事前に準備した説教ではありません。ただ、今この時に聖霊がどのように導かれるかに委ねるものです。

私は御言葉を読むことが大好きです。というのも、「信仰は聞くことによって、聞くことは神の言葉によって来る」と聖書が語っているからです。そして、御言葉は神から私たちへの直接の語りかけであると信じています。

ここでパウロ——私たちはこれがパウロによるものだと信じていますが——が、ヘブル人たちに向けて書いています。こうあります：

「律法には、後に来る良い事の影はあっても、事物の真のかたちはないので、年ごとに絶えずささげられる同じいけにえによって、来る人々を完全にすることができません。」

——この「完全にすることができない」というところを、私は特に強調したいのです。

「もしそうでなかったら、それをささげることが中止されたはずではないでしょうか。なぜなら、礼拝する人々が一度きよめられたのなら、もはや罪を意識することがなかったはずだからです。」

(※ここ、「罪を意識すること」という表現よりも、「罪への欲望がなくなる」と訳した方が良いと私は思います。)

「しかし、そのいけにえには、年ごとに罪を思い出させるものがあります。」

そして、第11節を読みます：

「すべての祭司は、日々仕えて、しばしば同じいけにえをささげますが、それでは罪を取り除くことができません。」

「しかし、この人(キリスト)は、罪のために唯一のいけにえをささげて、永遠に神の右に座し、」

「その後は、敵どもがご自身の足台とされるのを待っておられます。」

「なぜなら、彼は唯一の供え物によって、聖なるものとされた者たちを永遠に完全にされたからです。」

16 さて今夜は、このヘブル人への手紙——私たちはこれが使徒パウロによるものだと信じていますが——その素晴らしい御言葉を通して、少し思いを巡らせたいと思います。

(もちろん、学者たちの間では著者が誰であるかは完全には確定していませんが、私たちは聖パウロだと信じています。)

この箇所では彼は、ある意味で“型”(タイポロジー)を用いて語っています。律法というものが、これから来る「良きもの」の影であることを、パウロはここで示そうとしているんです。

それ自体が“本体”なのではなく、“かたち”ではなく、“影”——つまり、実体が差す前触れにすぎないということですね。

私はよく、詩篇23篇を引用して「たとい死の暗い影の谷を歩むとも……」と口にする人たちのことを耳にします。でも、皆さんも気づいておられるかもしれません——あの御言葉には「暗い(dark)」とは書かれていないんです。

あそこに書かれているのは、「死の陰の谷(the shadow of the valley of death)」です。「dark(暗い)」は、入っていません。

では、影というものはどうやってできるのでしょうか？

影が生まれるためには、必ずある程度の光がなければなりません。

完全に真っ暗なら、影そのものが存在できないんです。

ですから、「たとい、死の陰の谷を歩むとも……」というのは、逆に言えば、死の中にも光があるということなんです。

影があるということは、そこに光が差している証拠なんです。

ここにいる私の影が、この講壇に映っているのも、ここに光があるからこそです。もしここが完全な闇なら、影は映りません。

死——それはたしかに暗さを伴います。でも、それは“完全な闇”ではなく、影なんです。

つまり、主は死の中にも光を与えてくださっているということ。

皆さん、それを思うと嬉しくなりませんか？

「死の谷」にも光がある——主がそこにも、私たちのために光を備えてくださっているんです。

17 やがて私たちは皆、その道を通らなければなりません、皆さん。

今夜この場にいる私たち一人ひとりが、その道を歩んでいる最中です。

そして私たちの心臓が「ドクン」と打つたびに、それはこの地上で打てる鼓動の中の“ひとつ減った”ということなんです。

この旅路の中で、心臓が打てる回数には限りがあるのです。そしてある日、その最後の鼓動が訪れます。

そのとき、私たちは皆「死の陰の谷」を通って行かねばなりません。

でも——感謝すべきことに——私たちにはこう約束されているのです。

その谷の向こう岸には、**明けの明星 (Morning Star)**が私たちを待っていて、

その光で谷を照らし、川を渡る道を導いてくださると。

私自身も、いつか必ずその道を通ります。

だからこそ私は、自分の人生すべてを、イエス様のためにささげたいと願っているんです。

できる限りのことを、主のために尽くしたい。

そして私は、主の民を仕えることを通してしか、イエス様をお仕えすることができません。

あなたがたもまた、お互いを愛することによってしか、主を愛することはできません。

私があなただを愛することで、イエス様を愛することになる。

あなたが私を愛してくれるなら、それはイエス様を愛していることになる。

そして私たちが共に愛し合うなら、私たちは神の子どもたちとして歩むことができるのです。

私があなただを仕え、あなたが私を仕える——その中に神への奉仕があるのです。

イエス様は言われました、

「これらの最も小さき者のひとりにしたことは、すなわちわたしにしたのである」と。

ですから——

もし私たちが祝福を求めるなら、誰かに祝福を与える者になりましょう。

そうすれば、その祝福はきっと自分のもとにも帰ってくるのです。

ちょうど「パンを水の上に投げよ、やがてそれは帰ってくる」とあるように――

それは本当です。どんな人生の歩みの中でも、必ずそうなります。

私たちは、自分が蒔いたものを、やがて刈り取ることになるのです。

だから、良いことをしましょう。

良い言葉を語り、親切な心を持ちましょう。

そうすれば、人々もまた私たちのことを、良い人だ、親切な人だと言ってくれるようになるでしょう。

良いものが、私たちのところに戻ってきます。

なぜなら――私たちがそれを、先に与えるからです。

18 さて、パウロはここで谷について話します...あるいは、影、むしろ、来るべき良いものの影である法則は、崇拜者を完璧にすることは決してできませんでした。それから彼は完璧が何であるかを示し続けます。さて、これが人々の多くの考えであるのは奇妙なことです、彼らは「まあ、私は弱いですが、私の信仰はあまりありません、私はあまり良いクリスチャンではありません」と言います。それは悪魔があなたに言いたいことです。あなたはちょうどその時彼の言語を話しているだけです、見てください。あなたは決してそれを言うてはいけません。あなたの証言を決して否定的にしないでください。常にポジティブにしましょう。「私は救われました。私の心には神がいます。私は彼を心から信じています。」あなたは神の癒しを信じますか? 「心から」

あなたの証言、あなたの考え、すべてを常にさせてください...あなたがそれを助けることができるならば、あなたの心に否定的な考えが来るのを決して許さないでください。それがそこから始まる時、それを楽しまないでください。さて、あなたは「私は考えが来るのを避けられない」と言います。まあ、それは彼が止めることができないと言った農夫のようになるでしょう...彼は鳥が彼の場所の上を飛ぶのを止めることはできませんでした、しかし彼は彼らがねぐらをするのを確実に止めることができました。ですから、それは良いことです。彼らが来たときにあなたはその考えを助けることはできませんが、彼らを楽しまないでください。ただそれを渡してください。いいえ、先生。

イエス・キリストは私の救い主であり、すべてのものは神によって私のものです。そして、私はそれらを保持するつもりです。私はそれらを証言するつもりです。そして、神があなたのためにそれをしたとあなたが告白するときだけ、神はあなたを祝福することができます。ほら、彼は私たちの告白の大祭司です。そうですか? ヘブライ人3.彼は私たちの告白の大祭司だと言いました。彼は私たちがそれを受け入れ、信じ、告白するときのみ私たちのためにできるのです。

ああ、どうやって.....多分明日の午後、もし神が喜んでくださるなら、私は今、主イエスをどのように受け入れるかについて、今とても強い心にある何かに取り掛かりたいと思います。しかし、多分それは明日の午後の日曜学校のレッスンで良くなるでしょう。

19 今夜は法律について話したいと思います。さて、旧約聖書の下では、多くの人が律法、または...流血は律法から始まったと考えています。しかし、罪のための犠牲は律法の前にはありました。そして、彼らがエデンの庭から連れ出されるとすぐに、アベルは神に子羊を捧げました。これは主イエスのタイプでした。

さて、アベルは行って子羊を手に入れ、ロープを包みました...または、ロープではなく、おそらく当時、彼らはロープを作るために、私が推測する麻が何であるかを知りませんでした、ブドウの木と言うかもしれません、小さな子羊の首の周りに、それを祭壇までドラッグし、岩を投げ、それを置き、血がその小さな羊毛を浸し始め、それが出血して死ぬまで、その小さな喉を岩で叩きます。子羊が死ぬのを聞いたことがありますか? ああ、それはあなたが今まで聞いた中で最も哀れなことです。そして、そこで死んでいくその小さな子羊は、主イエス・キリストを代表していたのです。さて、それは奇妙に見えるでしょう....

20 聖書の中で気づいたことがありますか、イエスは連れ去られました。なぜ彼が家や小さな赤ちゃんのようにゆりかごの中で生まれなかったのか不思議に思ったことはありますか? 彼は馬小屋の納屋で生まれました。子羊はゆりかごで生まれません。彼らは厩舎で生まれています。彼は神の小羊でした。そして彼らは導きました....アベルは彼の子羊を導きました、そしてキリストは連れ去られました:子羊は虐殺に導かれました。

そして、アベルが祭壇の子羊とその首の鼓動を犠牲にしたとき、その静脈が押し出され、その小さな体に血が吹き付けられ、白い羊毛が赤く染まり、出血し、出血しているので、それは少量の血です、それが弱くなったので、それが最終的に震えを止めて死ぬまで、出血しました。

それは、カルバリーでの主イエス・キリストの典型であり、負傷し、血だらけの水門が彼の体に滴り落ち、霊的な解釈によってのみ解釈できる言語で泣いています。「わが神、わが神、なぜあなたは私を見捨てたのですか？」彼は異言で話すことで死にました、イエスはそうしました。彼はアベルの子羊のような言語を話す子羊でした。彼は理解できませんでした...この子羊の十字架につけられたアベルは、彼の子羊が何を言っているのか理解できませんでした。そして、十字架は神の小羊が言っていることを理解できませんでした。しかし、解釈すると、「私の神、私の神、なぜあなたは私を見捨てたのですか？」でした。何年にもわたって続いたタイプのすべて。

21 そして旧約聖書では、人が何か間違っただけをした場合、再び正当化されるために血の下に来なければなりません。「血を流さなければ、罪の赦しはありません。」それが今日私たちにどれほど美しく、どれほど印象的であるか。血を流すことなくして、罪の赦しはありません。あなたがどんな教会に属していても、どんな宗派、どんな組織、あなたが持っていた父親や母親がどれほど良いかに関わらず、それは個人的な事柄です。今日のすべての男性または女性が救われるために、神学を勉強する必要はなく、特定の種類の祈りを学ぶ必要もありません。彼らがしなければならない唯一のことは、準備された主イエス・キリストの流された血を受け入れることです。それから血を流すことによって罪の赦しに来るか、罪が赦されます。

22 さて、旧約聖書では、罪人が自分のために犠牲を捧げに来るといふ美しい絵を見つけなければなりません。私達は、傷のない子羊でなければならないことをすべてのタイプで知っています。...罪の捧げ物は最初の羊からのものでなければなりません...老母の雌羊からの最初の羊。そして、それは傷がないに違いありません。そしてそれは育てられ犠牲にされ、人々の罪のために死ななければなりません。

通知してください。そして、何か悪事をしたり、姦淫を犯したり、主の名を無駄にしたり、戒めを破ったりした場合、彼は子羊を司祭に持ってきました。そして今、最初の...子羊は洗われたなど、水のバプテスマの典型です。それから彼は子羊を育て、司祭の前で自分の罪を告白しました—彼がしたこと、彼がした悪。そして、司祭...そのメモが作られ、本に載せられました。

その男が年に2回同じ罪を犯した場合、彼は容赦なく死にました。もし彼が姦淫を犯しているのを捕らえられ、子羊が一度捧げられたのに、慈悲の座をまき散らした罪の捧げ物が彼を贖っていたなら、彼はそのために別の子羊を捧げることはできませんでした。ヘブライ人の第10章は、「モーセの律法を軽蔑した彼は、2、3人の証人の下で容赦なく死んだ」と述べています。第6章では、「彼が聖別された契約の血を数えることは、不聖なことであり、恵みの働きにも関わらず行われた」と述べています。彼らはそれを行うことができます。年末に別の子羊が殺されるまで、それは一度だけでなければなりません。

23 さて、私はあなたにこのように尋ねるかもしれませんが、あなたにこれを考慮して欲しいです。ヘブライ人への手紙の第10章の40節について、どこかにあります。あなたが許されない罪とは何かを考えたり、人々が話しているのを聞いたりしたことがあるかどうかを尋ねたいと思います。私はかつて母から許されない罪は中絶の事件だと言われていました。言い換えれば、彼らが生まれる前に彼女の赤ちゃんを追い払うであろう女性。チャンスが来る前に子供たちの命を奪うことは、許されない罪でした。

しかし、それは……母から言われたので、何年もの間それを信じていました。彼女はそれを受け入れただけでした...彼女は当時クリスチャンではなかったので、それがそれであると当然のことと思っていました、それはそれをしていました。他の人はそれが殺人を犯していると言いました。殺害した男は許されませんでした。自分で聖書を読んだ後、人間の命を奪うことは許されていることがわかりました。

24 さて、覚えておいてください、レディ、それは恐ろしいことです。

ここで少し前に女性が私の家にやって来て、彼女は「ブラナム牧師、私は夢中になります」と言いました。

私は「どうしたの?」と言いました。

彼女は私に、彼らが生まれる前、あるいは成熟する前に、彼女が自分で取った小さな赤ちゃんの命について話してくれました。そして彼女は、「私が自分自身に近づくと共に」、「赤ちゃんが私の耳で泣いているのが聞こえます」と言いました。そして彼女は、「私が手紙や何かを書くために座るたびに、私は私の髪に小

さな冷たい手が走っているのを感じることができます。」と言いました。

「種をまくと、刈り取ります。」それを覚えておいてください。正しく生きなさい。直立して生きる。神の前であなたの過ちを告白し、その道から抜け出し、男性と女性のように歩きなさい。神の僕たちは歩き、生きるべきです。

しかし、それでも、それは許されない罪ではありません。

25 イエスは、この地上にいたとき、と言われました。彼らはある日、たくさんの人を連れてきて、「悪魔の王子ベルゼバブを通して悪魔を追い出しました」と言いました。

そしてイエスは言われました、「あなたは人の子に対して一言話すことができます、それはあなたに許されるでしょう。しかし、聖霊に反対する言葉を話す者は、この世や来るべき世で許されることはありません。」聖霊に逆らって話す者。彼らが呼んでいたので……ほら、贖罪、血球は、私が少し後で説明するように、まだ破裂していないので、それは許されるかもしれません。聖霊はこの血球からそれ自身を突き刺していませんでした。しかし、一度そこから来た後、それは許されないことです。

26 さて、パウロはヘブライ人への手紙第10章40節でもそれを取り上げています。私はそれを信じて、こう言いました。激しい憤り。モーセの律法を軽蔑した彼は、2、3人の証人の下で容赦なく死にました。(彼が誰であったとしても)イエス・キリストの血を彼の足の下に踏みつけ、彼が聖別された契約を数え、不聖なことをするに値するものの、どれほどひどい罰(ミニスター、彼が誰であろうと)恵みの業にもかかわらず?)

私は聖書を引用しています。さて、始めましょう。

なぜなら、もし私たちが故意に罪を犯したなら...私たちは真実の知識を受け取ったからです...

さて、今夜ここに座っているのは、おそらく信仰の異なる段階の牧師が二十人いるかもしれません。親愛なる兄弟たち、これをあなたに聞きたいのです、「罪とは何ですか?」私たちが罪が何であるかを知ることができれば、それを故意に行えばそれが何であるかを理解することができます。喫煙、飲酒、姦淫、スケベな生活、これらは罪ではありません。それらは罪の属性です。あなたは罪人だからです。

27 私は合法主義者でも、アルミニアンでもカルビニストでもありません。しかし、私はそれぞれが教義を持っていたと信じています。しかし、彼らはその深い側から逃げ出します。彼らはそれにとどまり、物事のバランスをとっていませんでした。高速道路と道があり、道は道です。高速道路にはことごとく向こうに郵便道がありますが、この高速道路の真ん中に道路があります。あなたは...で乗り越えます。あなたは高速道路について、溝にすることができます。しかし、「邪魔」になってください。

イザヤは、「高速道路と道があるでしょう」と言いました。「そして」は、「高速道路」を「道」に導く結合です。そして、ここがあなたの旅の場所であり、「邪魔」なのです。それが「道」でのスムーズな走りです。聖書で彼らがそれを「道」と呼んだことを覚えていますか? それはすべて「この方法」で見つかりました。それは「道」と呼ばれていました。

28 通知してください。さて、「故意に罪を犯す者……」今、罪はこれに詰め込まれています。2つの要素があります。1つは信仰であり、もう1つは不信仰です。そして不信仰は罪です。それが唯一の罪であり、不信仰です。考えてみてください。不信仰。イエスは聖ヨハネ3章で、「信じない者はすでに非難されている」と言われました。あなたにはチャンスがありません。さて、中途半端なクリスチャンはいません。あなたは信者であるか、そうでないかのどちらかです。

さて、それは信念です。信念とは何ですか? 信仰とは何ですか? 「信仰とは、期待されるものの実体であり、見られないものの証拠です。」今、あなたが信じるなら、あなたは義の生活を送っています。信じない場合は、中途半端な人生、つまり偽善、つまり偽善者を演じること、または自分がそうであるふりをして信じさせることができます。しかし、あなたが本当に信者であるなら、神はあなたがあなたが信者であることを知る方法を作ってくださいました。さて、イエスはご自身でこう言われました。私の名において、彼らは悪霊を追い出すでしょう。病人を癒す」など。

29 さて、これがあなたに提示されたら...さて、見てください。「かつて悟りを開いた人々にとって、それは不可能です(参照)。再び立ち去るために、聖霊の参加者を作りました。もし私たちが故意に罪を犯す(信じない)なら……」それを浸らせてください。「真理の知識を受け取った後、故意に信じないならば、罪のための犠牲はもうありません。」

福音の真理があなたがそれを見なければならぬような方法で、そして人気や他の何かのためにあなたがそれに背を向けて立ち去り、それを見たくないような方法であなたに提示されたなら、あなたが一線を越えるところがあります。「真理の知識を受け取った後、故意に信じない者には、罪のための犠牲はもう残っていないのです。」

30 さて、それに信者が来て、懇願し、彼の子羊を連れてきて、それを置きました。彼は自分の罪を告白しました。ここはなんて美しいタイプでしょう。それから司祭は喉を切りました。そして信者は死にかけている子羊に手を置いた。そして、彼がそれを持って、小さな仲間が蹴っているのを見たとき、彼の血が噴き出し、彼の小さな頭がけいれんしました。そして、小さな仲間は出血しようとして、そして、彼が出血し、死にかけ、震え、固くなったときに頸静脈が喉を切りました。罪人は神を見上げて言った、「それは私であるべきです、しかし私はあなたにこの子羊を捧げています、そしてそれは私の代わりに死にかけています。」彼が神の律法を破った罪を犯したことを知っていたのです。したがって、彼は死ななければなりません。「あなたがそれを食べる日のために、あなたはその日死ぬのです。」

そして、自分の罪を告白し、罪のない子羊が代わったとき、彼はその子羊に手を置いて、自分の代わりに死んでいると感じ、良心の中で自分が有罪で子羊が無実であることを知っていましたが、無実であることに気づきました。代理人が彼の代わりになりました。そして、その年の終わりまでに彼がそれを軽蔑したり、それに恥をかかせたりした場合、彼は容赦なく死ぬでしょう。

31 さて、今日、美しいタイプの信者が来て、信じて、キリストの頭に手を置いています。そして、祭壇または彼の席で、彼がキリストに会うところはどこでも、カルバリーで彼に手を置き、そのすべての苦しみと苦しみはあなたのものであることに気づきました。そして、あなたの魂の中に深い後悔と悲しみがやって来ます。彼に手を差し伸べると、あなたは変わります。あなたは同じになることは決してないでしょう。それはあなたから非難を取り去りました。彼は、法律の下で、影であり、正当化されて去りましたが、それでも同じ願望を持っていました。

彼が姦淫を犯しているのを見つけられ、子羊を差し出したとしましょう。そして子羊は彼の代わりに死にました。彼は心の中にあるのと同じ欲求を持って建物からすぐに戻った。「雄牛と山羊の血のために」と聖書は言います、「罪を取り除くことはありません」。なぜなら、死にかけている動物の血球での生命は、動物の生命にすぎなかったからです。

32 しかし、この場合は...ここにあります。この場合、それは人間の命であるだけでなく、神の命でもありました。神は聖霊の形で処女の胎内に入った完璧な方です。創造主ご自身が血の細胞の中で自分自身を瓶詰めしています。彼には地上の父親がいませんでした。メアリーは人に触れられなかった。彼女は処女でした。そして、神ご自身が彼女に影を落としました。言い換えれば、神ご自身が血球を作ったという真っ白な概念に影を落としました。

そして、人生は女性からではなく、男性から来ています。女性はインキュベーターです。しかし、人生は男性から来ています。そして、生命が男性から来て、神がこの場所で男性であったなら、聖霊、神ご自身が女性の胎内に降りてきて、彼の周りに血球を形成しました。オーマイ！それを信じて、あなたの盲目の目に何が起こるかを見てください。それを信じて、あなたの癌に何が起こるかを見てください。

神が最初の細胞をしたように、神がご自身でそこに入って造られたこの血球。そして、彼自身に細胞を創造しました。それは生命を生み出し始め、御子、キリスト・イエスを生み出しました。そして、ローマの槍が罪と非難によって彼の神聖な心を十字架に突き刺したとき、その血球を粉々に砕き、仕切りの真ん中の壁を破壊し、信者を彼自身の存在の体に連れて行きました。血。

33 さて、血は動物によって完全になることはできませんでしたが、キリストの血は完全でした。今、私は決して完璧ではなく、あなたは決して完璧ではありません。私はあなたの目には決して完璧ではありません。あなたは私の目には決して完璧ではありません。しかし、それは脇に置いておきましょう。神の目の前ではどうですか？ 私はあなたを人間として見ています。私はあなたを兄弟として見ています。しかし、神は御子の血を通してあなたを贖われた者として見ています。イエスは言われました、「天におられるあなたの父が完全であっても、あなたがたは完全になりなさい」。そして、あなたがしたことではなく、それに値するものは何もありませんが、それはキリストがあなたのためにしたことです。ああ、分かりますか？

「のために」...これらの供物が続けられたなら、なぜ私たちはこれ以上犠牲を必要としなかったのだろうか。「しかし、一度浄化された崇拝者のために……」それを深く沈めましょう。「一度浄化された崇拝者は、

もはや「罪」に対する良心や欲求を失います。彼が本当に追い出された場合。あなたは何かを一掃することが何であるかを知っています。それが一掃された場合、信者は一度一掃されると、もはや罪の欲求を失います。そうすべきだったのに。したがって、雄牛と山羊の血はそれを行うことができませんでした。山羊と羊からの血球から出てくる命と燃える犠牲のために、動物の創造物として創造主に会いに行った命でした。

しかし、神の御子の血球から来た命は、降りてきてキリストの内にあり、世界をご自身と和解させた神ご自身に他なりません。偉大なエホバ。そこには人間がいた...人間の生命ではなかった。それは神の命でした。聖書は私たちが神の血によって救われていると言っています。神と神は霊である以外に男性はいないからです。それは実際に性的であるはずがありませんでした。それは超自然的にならなければなりません。それが今日の彼の教会が超自然を信じている理由です。

34 そして、自分の罪を告白し、死にゆく子羊の頭であるキリストに手を置き、カルバリーに目を向けた人は、もはや同じではありません。そうです。「一つの犠牲によって……」ヘブライ人への手紙第10章14節。「一つの犠牲によって、彼は聖別されたもの、または子羊の血によって清められたものを永遠に完成させたからです」。

罪人よ、それを見て、それを見てください。あなたは確かに。良くなることを試みないでください、あなたはこれ以上良くなることはできません。ただあなたのように来てください。何をしても、何の価値もありません。あなたができる唯一のことは、不敬虔な者を正当化する彼を信じることです。あなたがそれをするとき、あなたは救われます。ああ、イエスが私の心に入って以来、私の人生にどんな変化がもたらされましたか。イエスが私の心に入ってきたので、私はそこに行って上のその町に住むつもりです。

これはなんとという違いをもたらしたのでしょうか。それは売春婦に、最も低くかがみます。それは酔っぱらい、ギャンブラー、大富豪、貴族、教会員に行きます。「誰でも、彼に来て、命の水の泉から自由に飲ませてください。」

神の偉大な計画を見てください。イエスは世界の基礎から殺された神の小羊です。偉大な思考が言葉になる前に、神は...世界の創設の前にこれらのことを事前に考えていました。エデンの庭を見てください。神は私たちが死ぬためにここに置かれることは決してありません。彼は私たちにここに住ませました。彼は葬儀のために私たちにここに置くことは決してありませんでした。彼は私たちに幸せな子供として、永遠にもっと喜ぶためにここに置いてくれました。そして、たとえ罪が絵を傷つけたとしても、イエス・キリストの贖いの血がそれを清めます。

35 あなたはキリストの血が罪を告白するために何をするか知っていますか？ あなたは今までに服用したことがありますか...あなたの女性、あなたは漂白剤でいっぱいの洗面器を持っていて、インクでいっぱいの小さな点眼薬を服用し、このインクを漂白剤でいっぱいのこの洗面台に落とすと想像できますか？ インクはどうなりますか？ インクが漂白剤になります。何が起こったのですか？ それは漂白剤を少し傷つけません。それはただ引き受けて漂白剤になります。それが告白された罪がすることです。それが主イエス・キリストの血で告白されると、その色が変わり、義となります。あなたはそれを認め、あなたが救われるために神から与えられた道を喜んで受け入れるからです。友よ、そのようなものはありません。

古い救いの軍隊が「何が私の罪を洗い流すことができるのか？」という歌を歌っていたのも不思議ではありません。イエスの血に他なりません。」教会に加わったり、新しいことを始めたり、たまに文学などを読んだりしていません。イエスの血に他なりません。「何が私を再び完全にすることができますか？ イエスの血に他なりません。ああ、貴重なのは私を雪のように白くする流れです。私が知っている他の泉はなく、イエスの血だけです。」

今夜考えてみます。贖いの歌について考えてみてください。「多くの危険、苦勞、わなを通して、私はすでに来ました。ここまで私を安全にしたのは恵みです。恵みが私を引き継ぐでしょう。」

36 エデンの庭に戻ってください。ちょっと前の写真です。庭を走り回っている神の小さな子供たち、アダムとイブを見てください。素敵で、病気も、心痛も、害や破壊も、年をとることもありません。アダムがその朝目を覚ましたとき、神が彼の側から肋骨を取り、女性を作ったとき...私はギリシャの芸術家と世界のさまざまな芸術家がイブの絵を恐ろしい獣に描いているのを知っています。それは間違っています。日常の一般的な知識だけが、それとは異なることをあなたに知らせます。誰もそのように見える人を賞賛しません。彼らはそのように見えてそれを助けることができないかもしれませんが、彼らは彼らを気の毒に思います。

37 しかし、私はイブが神がこれまでに地球に置いた中で最も美しい女性だったと信じています。 私は彼

女がそこに座っているのを見ることができます、そして彼女の目は上の星のように青いです...空、輝き、彼女の長い髪が彼女の背中にぶら下がっています。これまでで最も完璧に見える女性は地球上にいました。彼女はそこにいます。神はアダムにできる限りのことを与えます。

アダムは彼女を腕に抱き、「彼女は私の肉の肉であり、私の骨の骨です」と言いました。そして、エデンの庭で、腕を組んで立って、全能の神がカップルと結婚した最初の儀式を行いました。それなら、酔っ払った治安判事がそれを行うことができますか？それは神聖で神聖なものです。そうです。神は最初のもの、儀式を行いました。

38 [兄弟が異言で話す]神の偉大な聖霊が人々の心の中で動き、そのイブとアダムを再び完全な状態に導きます。神の聖さ、神の完全さ。さて、何が起こったのですか？罪が入りました。そして罪が入ったとたんに何が起こりましたか？それは神の絵を台無しにしました。なんて恐ろしいことだったのでしょ。

それから私はあなたに気づいて欲しい: アダム、人間の緊張を示すために、アダムが自分が罪を犯したことに気づいたら、出て来てそれを告白する代わりに、あなたは彼が何をしたか知っていますか？彼は走って隠れた。そして、それは今日の人間のやり方です。それが今日の個人のやり方です。彼らは来る代わりに走って神から隠れ、罪を告白します。それは男性が今どこでもすべきことです、それを隠そうとするのではなく、来て彼らの罪を告白することです。信じられませんか？

しかし、それは何ですか？ 株。彼らはまだそれをしています。通知してください。それから神はエデンの庭を通り抜けて、「アダム、アダム、どこにいるの？」と叫びました。何が起こったのですか？ アダムは隠れました。彼は自分で神の前に立つたためにつけたエプロンを作りましたが、彼が神の前に立ったときはうまくいきませんでした。

さて、神はアダムを再び彼自身に戻して彼と話すことができるようにするために、神は出て行っていくつかの皮を手に入れ、エプロンを作りました。そうですか？ さて、もし彼が皮を手に入れたなら、皮を手に入れるために何かが死にました。ほら、それは代用でなければなりません。何かが有罪の人の場所を代用しなければなりません。そして、それは彼がそこで殺したその子羊はキリスト・イエスでした。そしてそこで彼は子羊の皮を持ってきて、茂みに戻し、アダムとイブはそれらを着ました。ここで彼らは父なる神の前に立つために出てきます。

39 今ここに見える。この写真を見てください。今夜は特にキリストの外でこれを見てほしい。そこにあります。彼らはそこに立って非難されています。神はアダムに、「なぜあなたはこれをしたのですか？」と言われました。

そして、すべての男性が人から人へと渡ろうとしているように、「あなたが私にくれた女性」。

その女性は「蛇が私を惑わした」と言いました。

片方からもう片方にそれを渡してください。次に、神が言われたことを見てください。茂みの頂上で光の渦がアダムとイブに話しかけている偉大なエホバを見ることができます。これを見てください。彼らがそうしたので、彼は言いました。「蛇よ、あなたの足が離れます。あなたの腹にあなたは一生行くでしょう。嫌われる; ほこりがあなたの肉になるでしょう。呪われて地面になりなさい、アダム。いばらとアザミが来るでしょう、そしてあなたは土までしなければなりません。そして眉の汗で生計を立てます。そして、私があなたをほこりから連れ出したので、ほこりはあなたが戻らなければならない。そして女性、あなたは世界から命を奪ったので、あなたは世界に命をもたらさなければならないでしょう。私はあなたの悲しみを倍増させます、そしてあなたの望みはあなたの夫にあるでしょう」など。

それらすべてのもの。彼はもはや彼らを彼の目の前に立てることができませんでした。罪。それでは、このかわいいカップルを見てみましょう。アダムは、彼の偉大な男らしい肩で、彼の毛むくじやらの髪が彼の首にぶら下がっています。イブ、多分彼女のブロンドの髪が彼女の背中にぶら下がっています。彼女の目は青い。アダムは今ここにおいて、彼の大きな筋肉の体は震えて揺れていました。なに？ 何が起こった。さて、ここで彼の頬を転がり落ちると、涙が出ます。死すべき今、彼は死ななければなりません。涙が彼の頬からイブの頭に落ち、それが彼女の体を流れ落ちるときに彼女と混ざり合った。罪、恐ろしいこと。神は「出発」と言われました。

40 そして、彼らが神の臨在からエデンの庭を歩いているのを見ることができます。彼らがそこに行くときにそれを見てください、彼が離れ始めるときの彼の足のその大きくて強い男らしい筋肉。涙が彼の頬から転が

っています。腕を組んでいる小さなイブ。イブの周りに腕を組んでいる彼。彼らが行くにつれて泣き、神の臨在から離れて歩きます。すべての罪人は同じことをし、彼の臨在から離れます。

それから彼らがそのように歩き始めたとき、気づいてください、彼らがアダムの大きな足に向かって跳ねているときの古い羊の皮[ブラザー・ブランナムが拍手]、彼が行く、歩いて行く、外に出るときに彼らが彼の足を叩くのが聞こえます。神から離れる。

41 そうすれば、私は神、神を構成するすべての偉大な永遠、すべての空間、すべての光を聞くことができます。すべてが4文字になっていることがわかります:l-o-v-e。それが唯一のことであり、今夜私たちが持っている唯一の希望は、神の愛にあることです。詩人がこう言ったのも不思議ではありません。「ああ、神への愛、どれほど豊かで、どれほど純粋なのだ！なんて無知で強いのでしょうか。それは永遠に...聖人と天使の歌になるでしょう。」神の愛が本当に何を意味するのかを書き留めたり、測定したりすることはできません。エデンの園で愛によって買われました。彼は言いました、「私は彼女の種と蛇の種の間に敵意を置きます。彼は蛇の頭を傷つけ、蛇の頭はかかとを傷つけました。

42 数分間、写真を変えてみましょう。四千年後を見てみましょう。エルサレムに入りましょう。朝です、8時くらいです。外で音がします。私たちは皆話している。何が起きているのですか？ああ、たくさんの継続、そしていくつかのヒス、そしていくつかの泣き声、いくつかのあざけり。日よけを引いて外を見て、そこに何かあるか見てみましょう。なぜ、見て、通りを下って来るのです。男がやってくる。そして、彼は彼に続いて2つの悪意を持っています。彼は背中に十字架を持っています。「まあ、それは誰ですか？」私は二階の私の会社に言います。

彼らは言います、「それはナザレのイエス、そのなりすまし、その神の癒し手です。私たちの教会を悩ませ、彼らとトラブルを起こす人。司祭が信じないことを教えます。それが彼です。彼らは彼をカルバリーに連れて行っています。彼らは彼を十字架につけるつもりです。

彼が門を出たときのそれらの大きな古い石畳は、彼の肩に上下にぶつかって交差していました。そして、彼らが彼を連れて行ったとき、私は彼が1つのロープを持っていることに気づきました。それは継ぎ目なしで全体に織り込まれ、そのロープのいたるところに小さな小さな赤い点が来ています。まだらですか？それは自然な色ですか？いいえ、真っ白でした。なぜそれらの小さなまだらの点？彼を見ましょう。彼がカルバリーに向かって進むにつれて、それらの小さな点はどんどん大きくなり始めます。そしてしばらくすると、それらはすべて1つの大きな赤い斑点にぶつかります。それはなんですか？血。

43 そして、彼がそこでカルバリーを立ち上げると、何かが起きているのが聞こえます[ブランナム兄弟が2回拍手します]。それはなんですか？二番目のアダム、贖い主、義人の血は、罪人が私たちの罪を隠すために血を流しています。そして、私たちはそれを彼に吐き返します。私たちは頭を振って言いました、「私は自分のやり方で宗教について話します。私は自分の宗教を持っているので、そのようなものを持っている必要はありません。」それがなければ、あなたは失われます。希望もなく、神もなく、キリストもなく、死にゆく世界で罪人の墓と悪魔の地獄に行き、それなしで。

神はあなたのために準備をされました。私は彼が交差する丘の荷造りをしているのを見ることができません、彼が丘を上っていくと彼の小さな弱い体がよろめきます。あなたが最初に知っていることは、それは彼の周りをぐるぐる回っていて、死は彼を激しく噛んでいました、そして彼は背中に十字架をつけて、カルバリーに向かって進んでいます。なに？彼がしなければならなかったの？いいえ、愛が彼をそれに駆り立てたからです。

44 そこで考えてみてください。彼らは言いました、「彼は自分自身、他の人を救った...彼は他の人を救った。彼自身は救うことができません。」それは褒め言葉でした。彼は他人と彼自身を救うことができませんでした。考えたことはありますか？彼は父でした。アーメン。彼は犠牲としての父なる神でした。それが私がその歌が好きな理由です、兄弟。あなたが彼をただの預言者にしようとすると……彼は単なる預言者ではありませんでした。彼は肉体で現れた神でした。

なぜ彼はできなかったのか……彼は12の天使の軍団を手に入れることができると言った。なぜ彼は彼らと呼ばなかったのですか？彼はできませんでした。それが彼自身の子供たちが彼の血を求めて泣いていた理由です。あなた自身の子供たちがあなたの血を求めて叫んでいると想像できますか？もし彼が彼らを非難したなら、彼は彼自身の子供たちを非難しました。彼は言った、「私は父の前であなたを非難しません。」彼は言った、「あなたはあなたを非難し、神の前であなたを非難したもの、それはモーセでした、そして

あなたは彼を信じています。」彼は彼らを非難しませんでした。彼は言った、「彼らを許しなさい、父よ、彼らは彼らが何をしているのか分かりません。」

45 そして、私はその死の刺し傷が蜂のように彼の周りを囓んでいるのを見ることができます。ここで彼を刺し、そこで彼を刺します。彼は死にかけていました、悪意のある者。彼は罪を知りませんでした、それでも世の罪はすべて彼にありました。すべての罪のしみ、すべての罪に対する罰、すべての涙、すべての心痛、すべての失望が彼の肩にかかっていた。そして、その刺し傷が回っています。なぜ彼は神だったのですか？彼は死の刺し傷を取るために肉体にされなければなりませんでした。

あなたは蜂を知っています...あなたは蜂が何であるかを知っています。蜂には刺し傷があり、その蜂は刺すことができます。しかし、その蜂がかつてその刺し傷を固定したことがあれば、それで刺し傷は終わりです。彼が引き離すとき、彼はステインガーを去ります。そして、死はそれに刺され、その時まで恐れがありました。しかし、その死の蜂がイエス・キリストを刺したとき、神は肉を造られ、彼は死の刺し傷を固定しました。そして、ミツバチはもう刺されていません。死は信者を刺すことはできません。

聖パウロが言ったのも不思議ではありません。墓あなたの勝利はどこにありますか？しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。」

46 「血を流すことなくして、罪の赦しはありません。来るべき良いものの影を持っている法律。」律法の下で死んだすべての子羊は、カルバリーの神の子羊にとって重要でした。そして、神自身の復活の力によって、神の体をよみがえらせました。神の体をその持ち主にするには不可能だったからです。

ダビデは御霊の中で言った、「わたしは聖なる者を離れて腐敗を見たり、彼の魂を地獄に置いたりしない」。それで彼は私たちの義化のために三日目に起き上がり、父の約束を約束しました、「私はあなたに永遠にとどまる聖霊、世界が受け取ることができない真理の霊さえもあなたに送ります」。

そして今夜、祝福された聖霊が今夜この建物の中にあり、エデンの園からできえ、死んだすべての子羊のアンティタイプの復活の力を持っています。「イエス・キリスト、昨日も今日も永遠に同じです。」キリストは罪人のために死に、病気のために死にます。神は憐れみと善良さのために永遠に祝福されます。

47 彼は同じ神、姉妹であり、そこに座っている静脈瘤を癒すことができます。あなたはそれを信じますか？受け入れますか？それでは、立ち上がって主イエス・キリストの御名によって癒されてください。神の小羊は世の罪を取り除きます。神は人を尊重しません。

そこに座っている老婆、私を見ている年配のクリスチャン、色のついた女性が座っています。あなたが言うかもしれないように、文盲の色の女性。しかし、神の恵みは彼女と共にあります。彼女は右胸に癌があります、問題です。そうです、レディ、すぐそこに座っていますか？あなたは神がその癌、あなたの乳房の問題を癒してくれると信じていますか？心から信じますか？あなたは思いますか....

彼女のすぐ後ろにもう一人、鼻と口に問題があります。あなたは神があなたを元気にしてくれると信じていますか？あなたがしなければならない唯一のことは、主イエス・キリストを受け入れ、心から彼を信じることです。あなたはあなたが求めるものは何でも持っているでしょう。

48 愛らしい方、キリストが死からよみがえられました。彼は今夜ここにいます。これらのことをしているここでこれは何ですか？心の秘密を知っているのは毎晩何ですか？聴衆から人々を呼ぶことができますか？今、それは乳白色の小川のようにここにぶら下がっています。それはなんですか？カルバリーで壊されたのは、血液細胞にあったその生命です。

.....血で満たされた噴水、

イマニュエルの静脈から引き出された、

罪人が洪水の下に突っ込むとき、

彼らの有罪の汚れをすべて失います。

死にゆく泥棒は見て喜んだ

彼の時代のあの泉。

彼のように下品ですが、私がそこにいるかもしれません、

私の罪をすべて洗い流してください。

[テープ上の空白のスポット。]

...信仰によって私はその流れを見ました

彼の流れる傷は供給します、

愛を贖うことが私のテーマでした、

そして、私が死ぬまでそうなるでしょう。

それから、より高貴で甘い歌で、

私は救うためにあなたの力を歌います、

このかわいそうな舌がどもるとき

墓に沈黙している。

ああ、罪人の友人、バックスライダー、生ぬるい、それはまだ血を流したことがないので、あなたは今夜来たくないですか？ 現在、噴水が開いています。来てみませんか？

全能の神がここに立って無知な貧しいプロウボーイを連れて行くことができ、私のABCをほとんど知らず、私が説教壇に来る前に聖書を読む練習をしなければならないが、それでも私を愛する神に従順な心を持って、彼はそこに彼の力を示しますその同じ経路を通して、盲人に見て、聴覚障害者に聞いて、足の不自由な人に歩いてもらい、彼の聖霊が彼がここにいたときと同じ形で働いていることを証明します。なぜなら、私は彼を信じ、彼を愛しているからです。あなたは私たちが頭を下げている間、彼が今夜あなたを救ってくれると信じています。

49 全能の神よ、今夜、この貧しい人々を憐れんでください。主よ、イエスの御名によってそれを認めてください。この多くは病気で苦しんでいます。あなたが彼らを癒してくれることを祈ります。主よ、ここには精神的に病気で失われた人がたくさんいます。彼らはただ教会から教会へそして場所から場所へと飛び回り、平和を見つけようとし、克服しようとしてきました。彼らはそれを行うことができないようです。彼らに今夜ここにいるこの霊を捕まえさせ、神だけでその血球の中に引き込まれ、そこに封印されます。聖霊による彼らの周りのその覆い。主よ、それを認めてください。

50 頭を下げたまま、ここにあなたの手を挙げて「ブラナム兄弟、私のために祈ってください」と言う罪人の男性または女性がいるのではないかと思います。主イエスと一緒にその血球に入りたいのです。」神はあなたとあなたとあなたとあなたを祝福します。ああ、手はいたるところに行きます。

さて、私の右側で、この誰かがあなたの手を上げて、「私を覚えておいてください」と言うのでしょうか。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。生ぬるい無関心な人が手を挙げてくれませんか、「ブラナム兄弟、私はいつも本当の真のクリスチャン生活を送りたいと思っていました」と言ってください。手を挙げて、「兄弟のために祈ってください」と言っただけませんか。ああ、神はあなたを祝福します。

51 今、あなたの頭を下げて、あなたがそうするならば、誰もが敬虔です。皆さん、神がここに立って見ていると信じているなら、私はあなたの兄弟です、私はあなたを愛しています、それが私が今夜ここにいる理由です。それが私がここでやっていることです。私はあなたを教会に参加させようとしているのではありません。私が知っているのは真実であるため、あなたにこれに来てほしいのです。あなたが行きたい教会に行きなさい、しかし私はあなたに本当に救われて欲しいのです。私はあなたにそのスプレーを通り抜けて欲しいです。そして、一度イエス・キリストと一緒にそこに閉じ込められたとき、彼は血のしぶきに来てキリストの体に来るそれらを永遠に完成させたからです。ただ…

今祈りを望んでいる彼ら、あなたは立ち上がっていただけますか？ そのような祈りを望む人たち、あなたはただ立ち上がっていただけますか？ どこでも。罪人よ、あなたは祈りの言葉のためだけに立ち上がっていただけますか？ 立っている人以外は頭を下げたままにしてください。ただあなたが立って、「これによって私は言う、私は神が私に罪人を憐れんでほしい」と言います。どこにでも立っていただけますか？ そうです。

そうです。

今、祈りをしている誰もが罪人ではありません。祈りの中で生まれ変わったすべてのクリスチャン。神はあなたを祝福します。高齢者が立ち上がって白髪になっているのを見てください。若い人たち、黒い光沢のある髪。小さな子供たち、若い女性、年配の人々、至る所で、イエス・キリストを救い主として受け入れています。偉大な聖霊が今これを見下ろしていると思いませんか？ 彼はこれが彼の意志であることを知らないのですか？

52 あなたは今、ある種生ぬるいですが、そして...あなたの人生、イエスについてのあなたの心にただ落ち着いたことは一度もありません。あなたは本当にしたいのです...あなたは神が病人のために私の祈りを聞くと信じています、確かに彼は罪人のためにそれを聞くでしょう。立ち上がってこう言いますか、「これによって、主イエス様、あなたは私の心を知っています、私は新たに生まれたいです。私は今夜、主イエスであるあなたの御子の血を通り抜け、彼の霊とキリストの体の中に満たされたいのです。私は血液細胞を通り抜けています。そして主よ、私は信仰によってそれを受け入れるために今立ち上がっています。」やってくれませんか？ この祈りの言葉のために今すぐ立ち上がっていただけますか？ 神はあなたを祝福します。一人一人立ったまま歩いてください。

「主イエス様、私は今あなたを受け入れています。」「信仰は、神の言葉を聞くことによって来るのです。」これは神の言葉であり、私の貧しい謙虚な方法であなたにそれをもたらす方法を私が知っている最高のものであり、「神は世界をとっても愛していた、彼は彼の息子を与えた」。そして彼は彼の息子を与え、彼はカルバリーで死にました、そして血は彼の体から罪人であるあなたを贖うために運ばれ、あなたを父の交わりに戻しました。神はあなたを祝福します。

53 今祈りのために立っているこの偉大な大規模なグループと一緒に立ちたい人がもう一人いますか？ もう1つ、私たちがいる間にそれをしていただけませんか...神はあなたを祝福します、兄弟。もう少しあると感じています。そうです、神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します、姉妹。神はあなたを祝福します。そうです。

私は狂信者ではありません。私はあなたにそれを証明しようとしてきました...あるいは、神は確かに私が狂信者ではないことを持っています、しかし私はおそらくここに他の人が立ちたいと思っていると感じています。あなたは「まあ、私は前に立っていた」と言います。もう一度やり直してください。今回は立ち上がって、「主よ、私を憐れんでください」と言ってください。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。「父よ、今、憐れんでください。主よ、あなたはそれを認めてくれますか？」ただ立っていてください。ただ立っていてください。礼拝のこの部分を終わらせている間、祈りの中でそれを覚えておきたいところはどこでも。立ちなさい。大丈夫、頭を下げている間。

54 私たちの親切な天の父よ、あなたを救い主として受け入れているこれらの人々に神の憐れみを祈ります。神よ、もしあなたがこの聴衆の中で外を見て、人々の病気と彼らが誰であるかを見ることができればなら。あなたは今ここで心に語っています。あなたは立っているこれらの人を見ます。立つべき人たちを見てください。父よ、ただ彼らにみことばを話していただけますか？ 彼らにあらゆる罪と不法侵入を許してください。あなたの愛する御子、主イエスの血が今、すべての不義から彼らを清めますように。そして、彼らがあなたの栄光のために謙虚で素敵に救われますように。

55 頭を下げた状態で、オルガンは少しの間、静かに曲を再生します。[兄弟が歌う]

一日の終わりに川に来ると、

悲しみの最後の風が吹いたとき。

誰かが私に道を教えてくれるのを待っているでしょう、

私は一人でヨルダン川を渡る必要はありません。

私は一人でヨルダン川を渡る必要はありません、

イエスは私の罪をすべて贖うために死なされました。

私が暗闇を見るとき、彼は私を待っているでしょう、

私は一人でヨルダン川を渡る必要はありません。

56 さて、立っているあなたは、歌がまだ動いている間に、祈りの言葉のためにこの祭壇にちょっと降りてきていただけませんか。立っている皆さん、ちょっとこの祭壇に降りてください、お願いします。

[テープ上の空白のスポット] ...今この聴衆の上に。私はその光が人々の間を移動しているのを見えています。何してるの？ 確かに、それは病人を癒し、人々の心に語りかけています。教会がただ彼を許すだけであるならば、彼がちょうどこの時に何ができるか。私が話し始めてから、もう少し来ました。他にありますか？ 祈りの言葉のためにちょっと待ってください。彼らは新たに生まれたいのです。彼らは愛らしい主イエス、神の子、救世主を受け入れるためにここにいます。大丈夫です。

57 父よ、私たちは今、あなたがこれらの人々を祝福してくれることを祈ります。彼らはこの祭壇で敬虔に立って、彼らのすべての過ちを告白し、彼らを許してくれたあなたに感謝しているからです。父よ、あなたはあなたの言葉に対する義務を負っています。あなたは、「誰でも、彼を来させ、彼を来させなさい」と言いました。そして、「私の父が彼を引き寄せない限り、誰も来ることができません。そして、私に来るすべては賢明に追い出されることはありません。私は彼に永遠の命を与え、最後の日に彼を育てます。」父よ、あなたの言葉はそうように語っています。私はあなたが永遠の命を与えてくださったことを知っています、そして私たちはあなたに感謝しています。さて、父よ、私たちの兄弟が歌い、人々が祈っている間、聴衆の上に移動してください。イエスの名において。

兄弟がこの次の詩を歌っている間、祈りの中にいてください。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7